

## さいごに

2008年に初めて「地域連携コミュニティ再生講座」に呼んでいただいたから、4年間、6つの市民グループの方々と一緒に「地域の連携」について考えてきました。この報告書も4冊目になります。これまでの報告書のタイトルは2008年度が「コミュニティを育む場を考える」、2009年「みんなで連携を考える」、2010年「みんなでつながりを作る」でした。大きな地図を使って「つながり」を見てみたり、石狩川の広大な流域を確認したり、「つながり」は行動であるという名言を共有したり、車を連ねて6つのグループの活動拠点ツアーを催したり、わずか3年の間に、以前には想像もできなかった世界が広がってきたのを感じています。そして2010年には6つの市民グループが、「アクティブ・アクティブ」という市民連携グループを結成するという大きな成果も生まれました。

2011年からは、6グループの活躍する舞台であるまちをお互い見せてもらおう！という企画が始まりました。今年は、えにわ市民プラザ・アイルにホストになっていただき、恵庭市恵み野のオープンガーデンと多自然工法によって整備された漁川、茂漁川を見学しました。その美しさは、今でも深く心に残っています。市民がまちを愛すると、こんなに素敵な場所が現れるのだと、改めて思い知らされました。そんな素晴らしい場所を、この4年間ですっかり親しくなった「アクティブ・アクティブ」の皆さんと一緒に歩いていると、人のつながり、庭のつながり、川につながり、そしてまちのつながりの、大きな力の中にいる自分を見出して嬉しくなります。

動画作成と配信を通して、お互いのまちや活動を知り合おうという企画も、進んでいます。「デジタル映像コンテンツ制作講座作品発表会」には、東京からINで参加しました。それぞれのまちの素晴らしさをどの様に伝え合い、共有できるのか、未だ挑戦中の企画ですが、離れたまちとまちがつながるための重要な道具になる！と、期待しています。

この何年間か、講座が終わって東京に帰る前に、千歳川下りをカヌー、Eボート、ゴムボートで愉しんでいます。支笏湖から流れだす清流、ゆったりと畑の中を流れる中流、大河石狩川に合流する水道、アクティブ・アクティブの活動する大地を貫き結んでいる千歳川のいろいろな顔をちょっとだけですが、見せてもらっています。自然の多様性、ひとびとの活動の多様性、そのつながりの多様性、どんどん引き込まれてゆきます。

恵庭で素敵な場所を作られ案内してくれた、内倉さん、荒関さん、動画作成講座の講師を務めていただいているほうしゅんさん、ありがとうございました。今回は、東京工業大学の研究室の若い学生諸君も5名ほどこの講座に参加しました。彼らも本当に楽しそうで、まちについて多くの大切なことを学んだと思います。この報告書の作成に当たっては彼らに強力にサポートしてもらいました。

最後になりますが、今年も貴重な機会を与えていただいた、財団法人 北海道地域活動振興協会に感謝いたします。

土肥真人

「デジタル映像コンテンツ制作講座作品発表会」で講評していただいた織田泰之さん（Mac オタク）、福田幸一さん（札幌日大高）「経営相談会議」でグラフィックファシリテーションをしていただいた宮本奏さん、溝渕清彦さん（NPO ファシリテーションきたのわ）にも改めて感謝の意を表したいと思います。

遠藤 淳